

検証テーマ:グローバル知財人財の育成・確保

「政府が中心となった人財育成の場の整備」(推進計画2013項目番号【53】)

工程表の記載

具体的な取組		概要
53	世界を舞台に活躍できる知財人財などを育成するための場の整備	世界を舞台に活躍できるグローバル知財人財や、経営層も含む知財マネジメント人財を育成するためには、諸外国の様々な知財情報、知財に関する法律的な知識、事業戦略と連携した知財戦略に関する知見やノウハウを包括的に提供できる場が必要である。我が国においても、民間セクターの協力を得ながら政府機関が中心となって世界を舞台に活躍できる知財人財などを育成するための場の整備に向けて、米国特許商標庁(USPTO)などの取組について調査を開始する。(短期)

取組状況

- 我が国企業がグローバル展開する上で、知的財産を事業戦略に巧みに活用できるグローバル知財マネジメント人材を育成するため、企業経営幹部、経営企画・研究・事業部門の管理職等を対象に、研修プログラムの策定、教材(eラーニング教材、知財ケース教材)の開発、検証研修(少人数グループ演習、シンポジウム)等を行う。平成26年度概算要求。
- 米国特許商標庁(USPTO)、中国国家知識産権局(SIPO)、韓国特許庁(KIPO)等の取組について、諸外国の知財人材育成機関との会合資料や公開情報を収集し、調査中。

課題・今後の展望

- 平成26年度のグローバル知財マネジメント人材育成推進事業の実施に向けて検討。

グローバル知財マネジメント人材育成推進事業

事業の内容

- 我が国企業の収益拡大、競争力強化のために、知的財産を経営戦略に活用できるグローバル知財マネジメント人材の育成を行う。
- 企業経営幹部や、経営企画・事業・研究部門の管理職等を対象に、研修プログラムの策定、教材（eラーニング教材、ケース教材）の開発、検証研修の実施、効果の確認等を行う。（＝研修の実証研究）
- グローバル知財マネジメント人材に求められるスキルや知識、必要なカリキュラム等を検討し、本事業の成果として民間でも使用可能なカリキュラム・プログラム・モデル教材・検証講義結果等も作成する。

事業イメージ

